庁　議　案　件	No.　4
令　和　5　年　2　月　7　日	
所管　建築都市局 都心未来創造部	

件　名	堺都心未来創造ビジョン（案）の策定について
経過・現状 政策課題	【背景】 〇本市の成長をけん引する堺都心部の活性化に向けて、2040 年の将来像や取組の方向性を示す「堺都心未来創造ビジョン」を策定する。 令和４年５月　（仮称）堺都心未来創造ビジョン方針（案）を公表 【現状と課題】 〇本市の都心部は、類まれな歴史文化資源に恵まれている。一方で、事業所数等は減少し、地価は低迷している。今後、人口減少等により、さらに厳しい状況が懸念される。 〇今後、2025 年の「大阪・関西万博」開催や、2031 年のなにわ筋線開業によるアクセス向上などにより、国内外からの来街が期待される。将来にわたって「成長」する堺を実現するため、この機を逸せず、堺都心部の魅力を向上させる必要がある。
対応方針 今後の取組 （案）	【ビジョンの目的】 堺市基本計画 2025、堺市 SDGs 未来都市計画（2021～2023）、堺グランドデザイン 2040、堺市都市計画マスタープラン等が示す将来像を受け、堺都心部の活性化に向けた取組の方向性を示す。 【対象区域】 多様な都市機能が集積する本市の中心的な拠点である都心部 約 400ha （堺東エリア、堺駅・堺旧港エリア、環濠エリア） 【コンセプト】 多様な人が交流し、企業が集まる、堺の成長をけん引する魅力的な堺都心部 【取組方針】 魅力を磨く：地域資源を活かして魅力を高める 魅力を結ぶ：人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ 魅力を育てる：公民連携によりエリア価値を向上させる 【取組の進め方】 「ビジョンと目標」を公民で共有し、できることから素早く手掛け、その効果を検証しつつ、また環境の変化に対応しながら段階的に取組を積み重ねていくアプローチでプロジェクトを推進する。 【今後のスケジュール】 令和５年３月～　パブリックコメントの実施 令和５年５月　　ビジョンの策定

効 果 の 想 定	堺都心部の魅力向上、来街者の増加、人材・企業の集積、シビックプライドの醸成
関 係 局 と の 政 策 連 携	文化観光局、環境局、産業振興局、建設局　など

堺都心未来創造ビジョン（案）の概要

背景

堺都心部は、古くから交易などの中心地として、また環濠を有する自治都市として発展しました。一時は、戦災により市街地の大半が焼失する事態に見舞われましたが、そこからめざましい復興を遂げ、大小路筋や大道筋を骨格に現在の市街地が形成されました。
しかし現在、商業環境の変化や施設老朽化などの影響から、来街者や事業所数等が減少しています。
2025年に「大阪・関西万博」の開催、2031年には「なにわ筋線」の開業が予定されており、堺都心部を変革し、持続可能な都市となるためには、まさに今が重要な分岐点です。
堺都心未来創造ビジョンを推進し、将来にわたって「成長」する堺を実現するために、未来を見据えて常に挑戦し続け、強力な都市ブランドを有する魅力と活力ある都市をめざします。

位置付け

- 堺市基本計画2025、堺市SDGs未来都市計画（2021～2023）、堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン等が示す将来像を受け、堺都心部の活性化に向けた取組の方向性を示すもの
- 市民、事業者、行政など、多様な主体とビジョンを共有
- 将来動向や取組の進捗を踏まえ、ビジョンは「進化」

対象区域

目標年次

2040年度

短期：概ね2025年度（大阪・関西万博の開催）

中期：概ね2030年度（なにわ筋線の開業、SDGsの目標年次）

長期：概ね2040年度（浅香山駅～堺東駅付近における高野線の高架化）

堺都心部の地域資源と取り巻く状況

歴史文化など豊かな地域資源が集積

堺都心部には、歴史ある町家・旧跡、寺社、環濠や堺旧港の水辺、刃物や線香等の伝統産業、阪堺線、さかい利晶の杜やフェニーチェ堺等の文化観光施設など、数多くの地域資源が集積しています。

広域アクセス性が高まり国内外からの来街が期待

今後、なにわ筋線開業を契機に国土軸・大阪都心部や関西国際空港、また大阪ベイエリアなど、多方面からのアクセス性が向上し、国内外からの来街が期待されます。

堺鉄炮鍛冶屋敷

旧堺燈台

文久改正堺大絵図（1863年）
堺市立図書館所蔵

堺都心部に求められていること

より多くの人を惹きつける魅力を備えた堺都心部に向けて必要な視点

- **地域資源を活用し都市魅力を高める**　商業、業務等の集積、歴史文化などの地域資源や道路、広場等の公共空間を活用することにより魅力を高め、都市イメージや認知度を向上
- **人中心の都市空間を形成する**　自家用車から公共交通への利用転換や、道路等を活かした居心地が良く歩きたくなる環境の構築などにより人中心の都市空間を形成し、交流を促進

〈堺東エリア〉
○様々な都市機能が集積し、多様な人が交流する堺の中心
・商業、業務、文化などの様々な都市機能の集積を活用し多様な来街を促すエリア
・堺駅、環濠、古墳群など様々なエリアと交わり、観光客など多様な目的の人が集うエリア

〈堺駅・堺旧港エリア〉
○広域アクセス性を活かした堺の玄関口
・関西国際空港、大阪都心へのアクセス性を活かしたエリア
○水辺を活かした魅力ある空間
・堺旧港・臨海部、環濠と接続した水辺を感じられるエリア

〈環濠エリア〉
○類まれな歴史文化を活かした魅力的な空間
・町家・寺社・環濠など、歴史文化資源を活用し、魅力創出を図るエリア

堺都心部の活性化に向けて

コンセプト

多様な人が交流し、企業が集まる、堺の成長をけん引する魅力的な堺都心部
～新たな価値の創造と都市ブランドの確立～

取組方針

魅力を磨く　～地域資源を活かして魅力を高める～

・３エリア固有の地域資源を活かし来街者等を惹きつける場の創出

魅力を結ぶ　～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～

- SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト
- 道路、公園、民間空地など、地域の資源として存在する公民の既存ストック（都市アセット）の活用によるウォーカビリティの向上
- 公共交通軸の強化や次世代モビリティ等の活用による、便利、快適かつ面的な移動環境の形成

魅力を育てる　～公民連携によりエリア価値を向上させる～

- 市民、事業者、行政など様々なプレイヤーによるビジョンの共有
- 公民の多様な主体による協働体制の構築と、持続可能な地域経営に向けた取組の推進

未来に向けた挑戦

これまでは、長期的な計画を固めた上で様々な取組を行ってきましたが、急速に時代が変化する今日、長期計画ではなく「ビジョンと目標」を公民で共有し、できることから素早く手掛け、その効果を検証しつつ、また環境の変化に対応しながら段階的に取組を積み重ねていくアプローチでプロジェクトを推進します。
まず、その第一歩として公共空間（道路、水辺、海辺、SMI）を中心とした人々の活動、交流、滞在を促す空間形成を進めます。

各エリアの取組の方向性

堺東エリア

クロス　プレイス　堺東
～訪れる・働く・住む人など多様な目的の人が集い・交流するエリアへ～

○観光・ビジネス・居住者など、多様な目的の人々が集う魅力的な都市空間の形成
○広場・道路等の公共空間を活用し、交流・滞在を促す居心地の良い人中心の空間の形成

魅力を磨く

駅街区の更新
・堺の顔となる商業、業務、宿泊等の充実による多様な目的の人が集う拠点の形成

瓦町公園周辺の更新
・商業・業務機能等の導入（再開発事業等）

魅力的な店舗が並ぶ通りの形成
・低未利用地等を活用し、商業機能を充実

商店街周辺の機能更新
・商業・業務機能等の更新
（リノベーション、規制緩和等による共同建替等）

魅力的な通りの形成
・低未利用地等を活用し、歩きやすく魅力的な通りの形成

瓦町公園周辺

堺東駅前周辺

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

シンボリックなウォーカブルパーク
・自動運転技術と車道・歩道・Minaさかいで憩い・交流する空間を形成
・Minaさかいの民間による運営（指定管理者制度等）

駅街区の更新（駅前広場等）
・鉄道の連続立体交差化
・ARTステーション
・東西の駅前広場一体利用
・駅前に憩いの空間形成
・デッキによる安全な移動空間

大小路筋（市役所北側）

堺駅・堺旧港エリア

“Mizube”（水辺）　Re-Design（リ・デザイン）
～堺の歴史を紡いできた水辺から新たな魅力が生まれ、国内外から人々が集うエリアへ～

○関空・国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心、堺の玄関口として多様な交流を創出
○堺旧港の海辺や環濠につながる水辺、豊かな歴史・文化等を活かした居心地の良い交流空間を形成

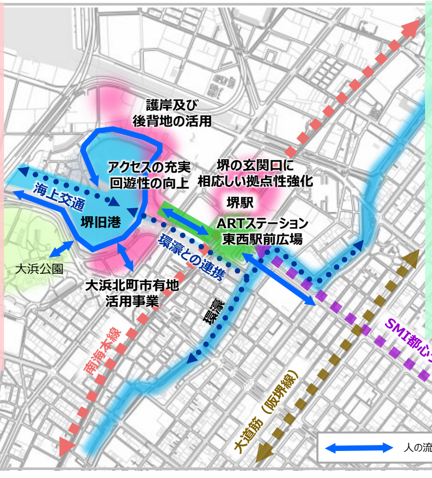
魅力を磨く

堺の玄関口に相応しい拠点性強化
・周辺の低未利用地も活用した商業・業務・宿泊機能等の集積、駅前空間の更新、ターミナル機能等の強化
・国内外からのゲートウェイとして多様な交流を生む拠点の形成
・豊かな都市生活を育む拠点の形成
・水と緑の憩いの空間形成

堺旧港の賑わい創出
・大浜北町市有地活用事業（宿泊・賑わい・交流機能、回遊性に配慮したデッキ等）
・護岸及び護岸後背地の活用（商業機能等導入）
・ポンプ場用地の活用

海辺空間活用による新たな魅力の創出
・水上施設など新たな水面利用
・水上アクティビティ

堺旧港



※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

駅街区の更新
・ARTステーション
・東西の駅前広場の一体利用

アクセスの充実、回遊性向上
・堺駅から堺旧港等へのアクセス、移動環境の充実

海上交通
・大阪ベイエリアとの連携
・環濠との連携

堺駅前周辺

環濠エリア

環濠（カンゴー）（CAN　GO）BEYOND（ビヨンド）
～歴史を紡いだ環濠エリアの新たな価値創造により人々が集うエリアへ～

○豊かな歴史文化資源や公共空間を活かし、環濠エリアならではの特別感のある空間形成
○伝統産業や歴史文化を活かした来訪魅力の創出
○居心地が良く歩きたくなるエリアに向けた空間形成と移動手段の多様化

魅力を磨く

環濠の水辺を活かした空間（環濠テラスの形成）
・水辺の日常利用、イベント活用の促進
・水辺アクティビティ（小型船、水上自転車等）の導入
・水辺に面した店舗等の立地を促進するインセンティブの導入
・水辺と周辺公共空間の一体的な活用
・水辺における情報発信・賑わい拠点の設置

堺消防署用地の活用
・環濠エリアを代表する顔
・賑わいが創出される場所

環濠水辺

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

魅力を磨く

環濠北部の歴史的建造物の保全・活用
・指定文化財等を核とし、歴史風致維持向上のため、道路の美装化、無電柱化、建築物の修景などによりまちなみを形成
・回遊性を高める基盤整備等受け入れ環境の整備

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・多様な移動手段で楽しみながら快適に移動
・次世代交通（ART）の導入
・阪堺線の利便性向上

豊かな歩行空間の形成（大道筋・大小路筋）
・イート＆レストなど賑わい空間充実に向けた道路空間の活用
・公園、民間空地等を活用した憩い滞在空間の形成
・沿道店舗等の立地を促進するインセンティブ導入
・沿道建物の1階を都市と人に開いた空間として形成
・大道筋のシンボリックな空間の再構築

大小路筋・大道筋
大道筋の中央に歩行者空間を整備したイメージ　　大道筋の歩道を拡幅したイメージ

ターゲットとロードマップ

		短期～中期（～2030年）〔～2025年〕	短期～中期（～2030年）〔2025年～〕	長期（～2040年）
ターゲット	市民等	公民パブリック空間等での活動や交流の促進	多様な活動や交流による新たな価値の創出	
	来訪者	市内外からの来街を促進	周辺地域からの来訪地、観光客の立ち寄り地として定着	
取組方針１ 魅力を磨く ～地域資源を活かして魅力を高める～		魅力あるエリア形成に向けた交流空間創出	多様な都市機能の導入・強化 市街地の更新、都市空間の再編	
		歴史ある堺の伝統・文化を活用した取組の推進		
取組方針2 魅力を結ぶ ～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～ ＜SMIプロジェクト＞		道路等の公共空間の活用	道路や民地を含めた沿道空間を活用した滞在空間・交流空間の形成	
		公共交通の利便性向上やバリアフリー化、次世代モビリティなどの活用 CaaSの導入		技術の進展等に応じた進化・更新
取組方針3 魅力を育てる ～公民連携によりエリア価値を向上させる～		公民連携による段階的取組・機運醸成	組織による運営開始	組織による自立的なエリア運営
		制度検討、導入		

堺都心未来創造ビジョン（案）

令和5年　月
堺市

目次

堺都心部の未来に向けて	P１
ビジョンの背景	P２
ビジョンの位置づけ・目的	P３
堺都心部の歴史	P４
堺都心部の地域資源	P５
堺都心部を取り巻く状況	P７
堺都心部の現状	P９
堺都心部に求められていること	P10
堺都心部の活性化に向けて	P12
取組の方向性	P13
取組方針	P14
堺都心部の未来に向けた挑戦	P18
堺東エリアの特性と取組の方向性	P19
堺東エリアの将来像	P22
堺駅・堺旧港エリアの特性と取組の方向性	P26
堺駅・堺旧港エリアの将来像	P29
環濠エリアの特性と取組の方向性	P31
環濠エリアの将来像	P34
ターゲットとロードマップ	P36

堺都心部の未来に向けて

多様な人が集い交流する魅力的な “堺都心部”へ

古くから海に開かれた堺は、海を通じ世界へとつながる流通往来の拠点でした。その中でも堺都心部は、日本最古の官道・竹内街道など主要な街道の結節点に位置し、水陸交通の要となる**交流の拠点として発展**しました。
現代においても、様々な交流が生まれるポテンシャルを有しており、**訪れる・働く・住む人など多様な人の交流が堺都心部を活性化させる**という考えのもと、市民・事業者・行政等が力を合わせ取組を進めることが必要です。

堺都心部の未来に向けて、類まれな歴史文化や多様な都市機能等の地域資源を活かし、
人を惹きつける魅力を高め、人が出会い・交流する場
それらを結ぶ居心地が良く歩きたくなる人中心のウォーカブルな空間
を創出し、魅力的な堺都心部をめざします。

ビジョンの背景

「ものの始まりなんでも堺」の精神

堺の人々は「ものの始まりなんでも堺」と謳われるように、新しいものを取り入れる気風や柔軟さを持ち合わせ築き上げた「匠の技」は世界に誇れるものです。
常に時代の先を見据えて新たに挑戦するその精神は、日本でも類まれな堺の歴史文化として、今に受け継がれています。

「未来に向けた挑戦」

堺都心部は、古くから交易などの中心地として、また環濠を有する自治都市として発展しました。一時は、戦災により市街地の大半が焼失する事態に見舞われましたが、そこからめざましい復興を遂げ、大小路筋や大道筋を骨格に現在の市街地が形成されました。
しかし現在、商業環境の変化や施設老朽化などの影響から、来街者や事業所数等が減少しています。
2025年に「大阪・関西万博」の開催、2031年には「なにわ筋線」の開業が予定されており、堺都心部を変革し、持続可能な都市となるためには、まさに今が重要な分岐点です。
将来にわたって「成長」する堺を実現するために、未来を見据えて常に挑戦し続け、強力な都市ブランドを有する魅力と活力ある都市をめざします。

「訪れたい」「働きたい」「住みたい・住み続けたい」都市へ（堺グランドデザイン2040より）

新たな都市魅力の源泉となる、ウォーターフロント

歴史を感じる環濠

多様な人が交わり、活力をけん引する拠点

ビジョンの位置づけ・目的

堺市基本計画2025
堺市SDGs未来都市計画

堺グランドデザイン2040
堺市都市計画マスタープラン

2025 → 2030 → 2040

2030
- ▶多様な都市機能の導入・強化、商業機能の集積により、様々な人が集うエリア
- ▶人が安全・快適に過ごせるウォーカブルなエリア
- ▶居心地の良い豊かな海辺を体感できるエリア
- ▶歴史や文化、環濠の水辺等を感じられる国内外から人が訪れる活気あるエリア

2040
- ▶「訪れたい」「働きたい」「住みたい・住み続けたい」都市
- ▶堺の発展を牽引する都心の形成

[位置づけと目的]

- ・堺市基本計画2025、堺市SDGs未来都市計画（2021～2023）、堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン等が示す将来像を受け、堺都心部の活性化に向けた取組の方向性を示すもの
- ・市民、事業者、行政など、多様な主体とビジョンを共有
- ・将来動向や取組の進捗を踏まえ、ビジョンは「進化」

[目標年次]

2040年度

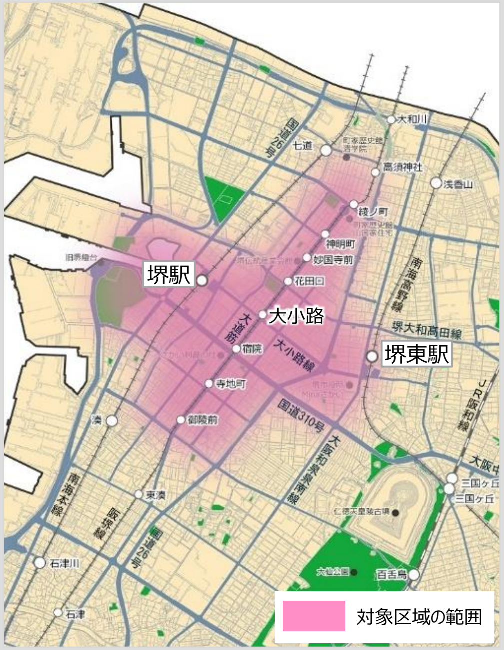
短期：概ね2025年度（大阪・関西万博の開催）

中期：概ね2030年度（なにわ筋線の開業、SDGsの目標年次）

長期：概ね2040年度（浅香山駅～堺東駅付近における高野線の高架化）

[対象区域]

多様な都市機能が集積する本市の中心的な拠点として、概ね右図の範囲（約400ha）



堺都心部の位置図（堺市都市計画マスタープラン）

堺都心部の歴史

類まれな歴史文化を有する堺都心部

堺は、百舌鳥古墳群に代表されるように、古くからの有数の歴史を有しています。古代より海に開かれた堺は、海を通じ広く世界へとつながる流通往来の拠点となり、中世には国際貿易都市として大きな繁栄を極め、海外と交流することにより様々なイノベーションを起こしてきました。また、防衛のため濠を巡らせた「環濠都市」が形成され、会合衆による自治が行われました。
堺都心部には、「自治都市」の趣を残す環濠エリア、刃物や線香などの伝統産業、堺生まれの茶人・千利休が大成させた茶の湯など、様々な歴史資源や先人が生み出した文化が今に受け継がれています。

<古代> 海の玄関口・交通の結節点として

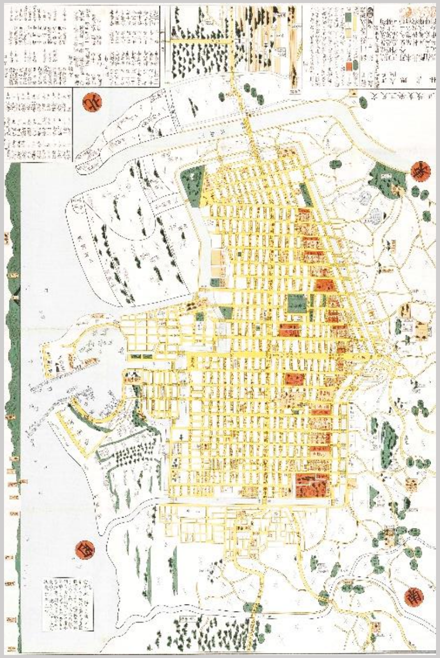
百舌鳥古墳群

- 5世紀頃に世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造
- 摂津、和泉、河内の3国の境界に位置していることから「さかい」と呼ばれる

<中世～近世> 商人を中心とした自由・自治都市として

住吉祭礼図屏風 右隻（江戸時代初期）堺市博物館所蔵

日本図 ティセラ／オルテリウス（1595年）堺市博物館所蔵



文久改正堺大絵図（1863年）堺市立図書館所蔵

- 豪商たちは、まちを守るために「環濠都市」を形成
- 自治都市として、進取の気風のもと繁栄
- 古くからの鍛冶技術を活かし、鉄砲や包丁の一大産地として発展

堺都心部の地域資源

歴史文化など豊かな地域資源が集積

堺都心部には、歴史ある町家・旧跡、寺社、環濠や堺旧港の水辺、刃物や線香等の伝統産業、阪堺線、さかい利晶の杜やフェニーチェ堺等の文化観光施設など、数多くの地域資源が集積しています。

町家・旧跡

山口家住宅

千利休屋敷跡

堺鉄炮鍛冶屋敷

旧堺燈台

寺社

南宗寺

妙國寺

菅原神社

開口神社

歴史ある水辺

環濠（内川・土居川）

堺旧港

伝統産業

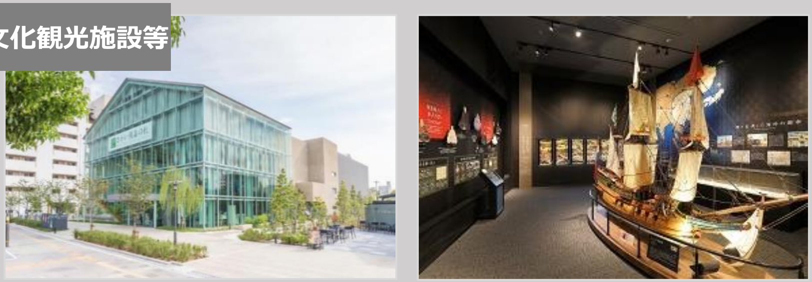
堺刃物ミュージアム「CUT」

堺伝匠館

刃物・線香

堺都心部の地域資源

文化観光施設等



さかい利晶の杜

シマノ自転車博物館

フェニーチェ堺

大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館（大浜体育館・大浜武道館）

道路や広場等の公共空間

大道筋・チンチン電車（阪堺線）

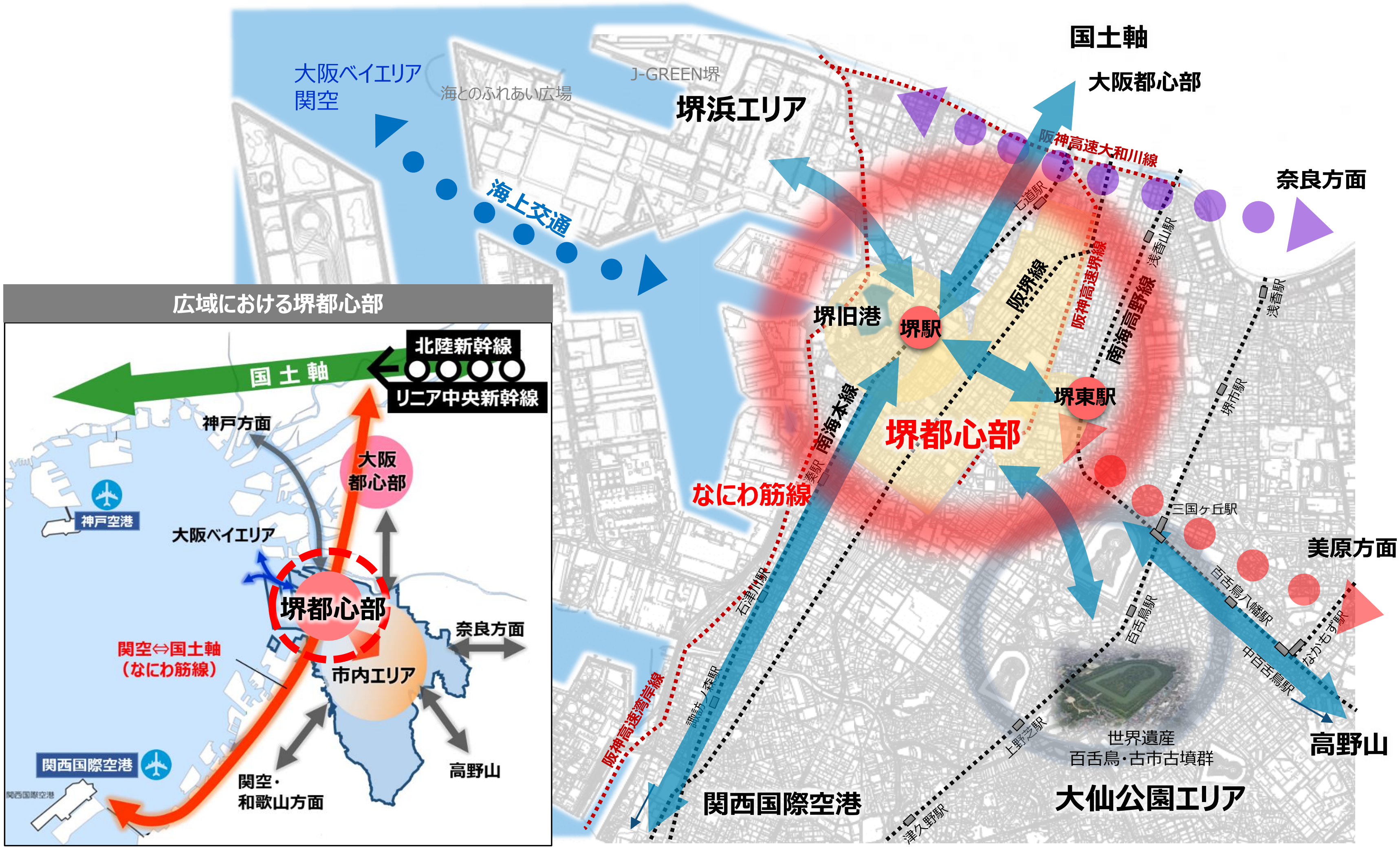
大小路筋（大小路シンボルロード）

Minaさかい　堺市市民交流広場

堺都心部を取り巻く状況

広域アクセス性が高まり国内外からの来街が期待

堺都心部は、広域アクセス性が高い交通ネットワークを有しています。今後、なにわ筋線開業を契機に国土軸・大阪都心部や関西国際空港、大阪ベイエリアなど、多方面からのアクセス性がさらに向上し、国内外からの来街が期待されます。



堺都心部を取り巻く状況

多様な層が主役に

新型コロナ感染症を契機に働き方や暮らし方、時間の使い方が大きく変化しています。今後、ウィズコロナ・アフターコロナの環境において、女性の社会進出や共働きの定着、インバウンド需要回復により、例えば、街なかで子育てしながらシェアオフィスで働くなど、住まい方・働き方は一層多様化し、また、ここにしかない魅力やここでしかできない体験など、時間や空間の価値向上が求められます。このことから、これらの多様な層を都市に呼び込むことが重要になると考えられます。

- 海外から訪れた旅行者が、堺の歴史文化に触れる体験をする
- 子どもを出産し都心部で暮らす夫婦が、子育ての支援サービスが併設されているコワーキングスペースで勤務し、勤務後は広場で家族と遊んで過ごす

都市を「つくる」から「つかう」社会へ

都市のインフラ等の整備が進み、利便性の高い生活が送れるようになりました。今後は、さらに市民や来街者が居心地よく過ごせるよう、「つくる」から、これまで整備した道路や広場、水辺等の都市が持つ資源を「つかう」視点が活性化に重要になると考えられます。

- 都市の中にくつろげる居心地の良い広場がある
- 気分転換ができる歩いて楽しい通りがある

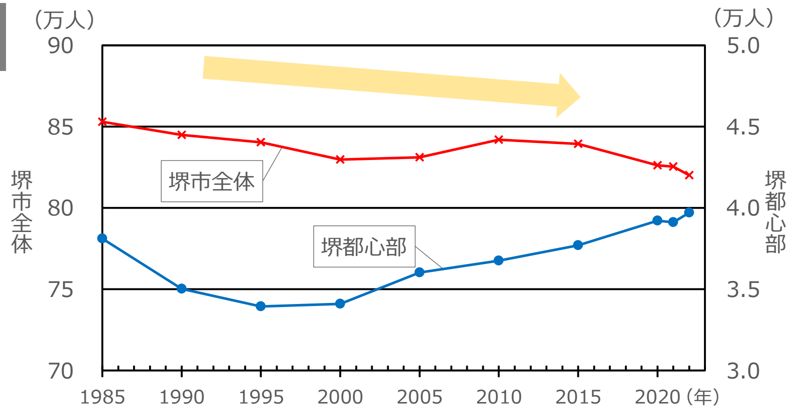
ICT等の技術革新が暮らしを変える

2040年･･･ 様々な技術革新が進み、テレワークやバーチャルの普及、人やモノの移動が自動化・無人化、eコマースの浸透など、市民生活や社会活動が大きく変化する可能性があります。このような技術革新に支えられる豊かな暮らし方により、持続的に都市が成長し、発展することが想定されます。
このことから未来の新たな技術を都市へ積極的に活用することが重要になると考えられます。

- 自動運転車両による移動サービスや小型自動ロボット、ドローン等による無人物流がある
- 運動、旅行、鑑賞など様々なことが現地に行かずともバーチャルで体験できる未来がある

堺都心部の現状

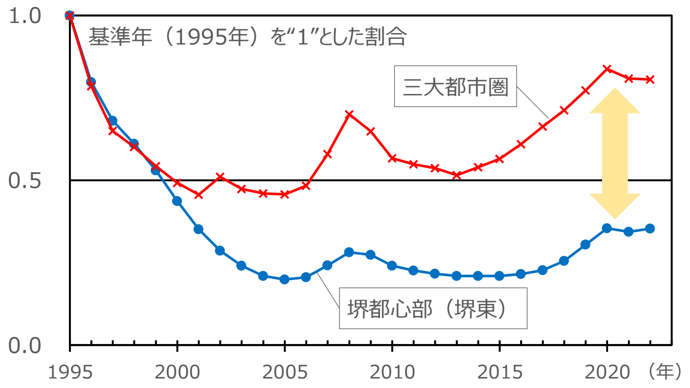
人口



堺都心部の人口は微増だが、堺市全体の人口（2000年以前は旧美原町含む）は1985年（昭和60年）をピークに減少傾向

※堺市全体の人口は、現在の堺市域に基づいて組み替えた人口を国勢調査及び堺市統計書のデータを基にグラフ化
※堺都心部の人口は、堺市統計書のデータを基にグラフ化

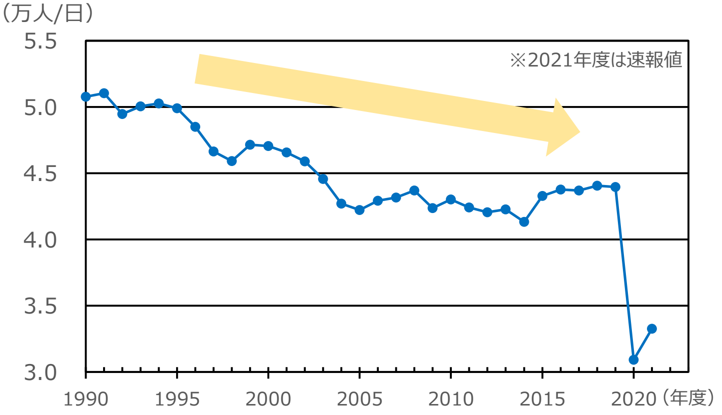
地価



バブル崩壊後、三大都市圏の地価はかつての水準に戻りつつあるが堺都心部（堺東）の地価水準は大きく低迷したまま

※三大都市圏（東京圏、大阪圏、名古屋圏）は、地価公示のデータ（商業地の平均価格）を基にグラフ化
※堺都心部（堺東）は、北瓦町2丁114番外の地価公示価格を基にグラフ化

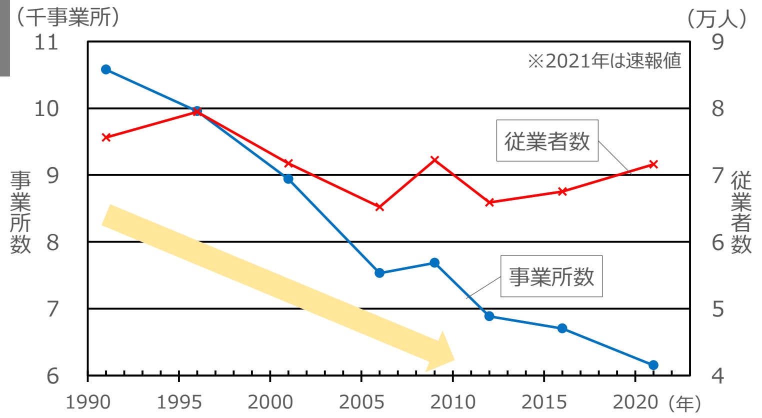
堺東駅・堺駅乗降人員（定期利用除く）



堺東駅及び堺駅の乗降人員の合計は長期的にみると減少傾向

※堺市統計書のデータを基にグラフ化（2020年度は新型コロナ感染症により大きく減少）
※2021年度は鉄道事業者への聞き取りによる速報値

堺区事業所数・従業者数



堺区の事業所数は減少傾向

※事業所統計調査（1991年）、事業所・企業統計調査（1996年、2001年、2006年）、経済センサス基礎調査（2009年）、経済センサス活動調査（2012年、2016年、2021年（速報値））のデータを基にグラフ化
※第3次産業の合計

堺都心部に求められていること

地域資源の活用により、多様な主体を惹きつける堺都心部

類まれな歴史文化資源に恵まれている堺都心部、しかし、現状を見ると事業所数は減少し、地価の低迷も続いています。

今後、さらに全国的な人口減少が進むことを考えると、将来、来街者や就業者等の減少による商業、業務などの都市機能の低迷を招き、さらなる来街者の減少を引き起こすなど、厳しい状況も懸念されます。

堺都心部の未来を創造するためには、以下に例示するような機能、役割を念頭に、**地域資源を活かし、より多くの市民、来街者、民間等を惹きつける都市魅力を備えることが必要**です。

市民（働いている人や住んでいる人）

「自宅」に居ながら買物など日常生活の多くを過ごせる環境が整い、外出の必要性が相対的に減少していく一方で、気分転換、健康維持などの観点から、ふらっと出かけてみたくなる「自宅以外の居場所（サードプレイス）」の必要性が高まっています。

例．居場所となる快適で居心地の良い滞在空間、そこに行けば楽しい何かがある普段着で楽しめる非日常的な体験

国内外からの来街者（訪れる人）

ICT技術の進歩に伴い、様々な体験をバーチャルでできるようになり、将来はリアルに近い体験も可能になるものと想定されます。
一方バーチャルの世界が充実するほど、バーチャルでは決して味わえない「本物」の価値はますます高まっています。

例．有形無形の歴史文化資源を活かした「本物」の体感、体験の提供

事業者

技術革新が急速に進みつつある今日、各企業は、常にイノベーションをめざさなければ埋没しかねません。
企業活動の場所として、革新的な実証等の取組が可能であり、そのような取組を担うべき人材が集積したエリアの重要性はますます高まっています。

例．市民や来街者に貢献する先駆的技術の積極的な導入
公共空間活用等における市民や民間事業者の積極的な参画

堺都心部に求められていること

より多くの人を惹きつける魅力を備えた堺都心部に向けて、以下のような視点が求められています。

・地域資源を活用し都市魅力を高める	商業、業務等の集積、歴史文化などの地域資源や道路、広場等の公共空間を活用することにより魅力を高め、都市イメージや認知度を向上させる。
・人中心の都市空間を形成する	自家用車から公共交通への利用転換や、道路や沿道空間等を活かした居心地が良く歩きたくなる環境の構築などにより人中心の都市空間を形成し、エリア内・エリア間の人の交流を促す。

〈環濠エリア〉
○類まれな歴史文化を活かした魅力的な空間
・町家・寺社・環濠など、歴史文化資源を活用し、魅力創出を図るエリア

〈堺東エリア〉
○様々な都市機能が集積し、多様な人が交流する堺の中心
・商業、業務、文化などの都市機能の集積を活用し、多様な来街を促すエリア
・堺駅、環濠、古墳群など様々なエリアと交わり、観光客など多様な目的の人が集うエリア

〈堺駅・堺旧港エリア〉
○広域アクセス性を活かした堺の玄関口
・関西国際空港、大阪都心へのアクセス性を活かしたエリア
○水辺を活かした魅力的な空間
・堺旧港・臨海部、環濠と接続した水辺を感じられるエリア

堺都心部の活性化に向けて

堺市 SAKAI CITY

＜コンセプト＞

多様な人が交流し、企業が集まる、堺の成長をけん引する魅力的な堺都心部
～新たな価値の創造と都市ブランドの確立～

＜取組方針＞

魅力を磨く　～地域資源を活かして魅力を高める～

・３エリア固有の地域資源を活かした来街者等を惹きつける場の創出

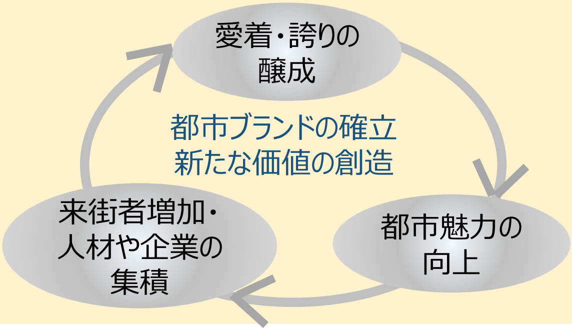
魅力を結ぶ　～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～

・道路、公園、民間空地など、地域の資源として存在する公民の既存ストック（都市アセット）の活用によるウォーカビリティの向上
・公共交通軸の強化や次世代モビリティ等の活用による、便利、快適かつ面的な移動環境の形成

魅力を育てる　～公民連携によりエリア価値を向上させる～

・市民、事業者、行政など様々なプレイヤーによるビジョンの共有
・公民の多様な主体による協働体制の構築と、持続可能な地域経営に向けた取組の推進

取組方針に基づき取組を進めることにより、都市魅力を向上させ、来街者の増加や人材・企業の集積、地域への愛着・誇りの醸成につなげます。
相互の好循環の中で、新たな価値を創造し、都市ブランドを確立します。



取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

めざすべき将来像に向け様々な施策を推進

堺都心部の有する類まれな歴史文化や多様な都市機能等の地域資源を活かし、公民連携のもと、観光・産業・都市空間形成・環境など様々な取組により魅力を高め、人・地域・資源・情報・サービスを結ぶことにより、市内外から多くの来街者等が訪れ、交流する都市魅力にあふれた堺都心部の実現を図ります。
このことを通じ都市イメージを刷新し、また都市ブランド力を高めることにより、堺都心部を中心に多くの人材、企業、投資を惹きつけ、新たな価値を創造しつづける堺を実現します。

魅力を磨く
～地域資源を活かして魅力を高める～

観　光
- 歴史文化資源を活用した多様なコンテンツの創出
- 来訪者の受入環境の整備、情報の発信による来訪意欲の向上

産　業
- 伝統産業のブランド化
- オフィス機能の集積化
- サービス業の高付加価値化

都市空間
- エリアの特性を活かした魅力ある都市空間の形成
- 多様な都市機能の集積・強化

環　境
- 革新的な環境技術等による建物等の脱炭素化の促進

魅力を結ぶ
～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～

交　通
- 公共交通への利用転換や利用促進
- 公共交通の利便性向上やバリアフリー化、多様なニーズに対応したモビリティの導入による便利・快適な移動環境の構築
- 自転車を活用した散走などの周遊促進
- 自転車環境（駐輪場やシェアサイクル等）の改善による利便性の向上

情　報 サービス
- ICTを活用した堺都心部における様々な情報やサービスを包括的に提供することによる利便性や回遊性の向上

都市空間
- 公共空間等を活用した居心地の良い人中心の空間の形成
- 多様な人々の出会いや交流の場となる滞在空間の創出

環　境
- 革新的な環境技術等による交通の脱炭素化の促進

魅力を育てる
～公民連携によりエリア価値を向上させる～

- 地域に関わるプレイヤーの発掘、育成
- 民の「やりたい」を実現できる体制、スキームの構築
- 公民連携、エリアマネジメントを軸とした、公共空間などの活用及び維持管理の検討
- 市民、事業者、行政など公民多様な主体とのビジョンの共有

取組方針　魅力を磨く
～地域資源を活かして魅力を高める～

堺市 SAKAI CITY

堺の玄関口に相応しい拠点性強化

国内外の来訪者が堺に出会う交流拠点

豊かな時間を提供する文化交流拠点

大和市文化創造拠点シリウス 出典：同HP

旧港・環濠等水辺を活かした滞留機能

姫路駅・キャッスルガーデン
出典：姫路市HP

水辺のアーバンライフを楽しむ都市生活拠点

水辺の魅力を活かした交流空間の形成

親水護岸＆後背地への商業機能導入

大浜北町市有地活用事業

類まれな歴史文化資源を活かした付加価値の高い観光メニューの造成

高い精神性を現代に伝える『茶の湯』をはじめ堺が誇る歴史文化を体験

さかい利晶の杜

歴史ある堺の伝統・文化を未来につなげる

歴史的まちなみの保全

伝統産業や歴史文化を活かしたコンテンツ創出

革新的な環境技術等による脱炭素化の促進

建築物のエネルギー利用の効率化による脱炭素化の促進

「環濠エリア」の特別感のある空間の形成

環濠の水辺を活かした空間の形成

アメリカ・サンアントニア
出典：国土交通省

横浜市・大岡川
出典：国土交通省

環濠水辺と公園・緑地の一体的な活用

東京都墨田区・北十間川
出典：国土交通省

市有地の活用

茨木市・IBALAB@広場
出典：茨木市HP

多様な人が集う都市空間の創出

堺東駅街区の更新
鉄道の連続立体交差化

アメリカ・ニューヨーク

瓦町公園周辺の更新
交流拠点の形成

アメリカ・ポートランド

都市機能の更新・強化
（低未利用地活用、リノベーション等）

フィンランド・ヘルシンキ

ドイツ・フライブルグ

取組方針　魅力を結ぶ

～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ<SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト>～

生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携

様々なサービスを提供する"CaaS"の導入

移動手段の一括予約・一括決済

回遊性を高める情報の発信

出典：観光庁

公共交通の利便性向上、ネットワーク構築

SMI都心ライン

SMI美原ライン

ベイエリアとの連携

大阪湾岸の海上交通

関西国際空港と神戸空港を結ぶベイシャトル
出典：Bay Shuttle HP

環濠の舟運

革新的な環境技術等による脱炭素化の促進

公共交通への転換、車の電動化などによる脱炭素化の促進

都市アセットの活用によるウォーカビリティ向上

居心地が良く歩きたくなる空間の形成

兵庫県姫路市
出典：国土交通省

道路ランドスケープの魅力向上

スペイン・ビトリア=ガステイス
出典：欧州連合HP

道路・公園・民間空地などの都市アセットを活用した滞留空間（出会いの場・つながりの場）の創出

宮崎県日南市
出典：国土交通省

東京都豊島区
出典：国土交通省

面的かつ円滑に楽しく移動できる環境の構築

自転車利用の利便性向上

周遊サイン整備（デジタルサイネージ等）

デジタルサイネージ（新宿区）
出典：国土交通省

新たな周遊交通手段の導入

出典：国土交通省

SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクトの取組

堺市 SAKAI CITY

移動利便性の向上
すべての人が便利で快適に移動できる交通体系により、安心して暮らし続けられる環境や、市域外からの受入環境を実現

道路・交通空間の人への開放
ウォーカブルな街路空間の形成や、交通結節点の賑わい空間化などにより、多くの市民が訪れ滞在する堺都心部を実現

ゼロカーボンシティの先導
モビリティの脱炭素化の推進により、ゼロカーボンシティ実現を先導し、安全・安心で快適な暮らしを実現

ウォーカブルで居心地が良い魅力的な都市空間の形成

- 公共交通とシェアサイクル・次世代モビリティなどを活用して回遊性を向上
- 賑わいのある滞留空間の設置など、歩きたくなるウォーカブルな都市空間の形成

出典：国土交通省

バリアフリーな都市空間の実現

- 最新技術の活用や施設改良などによる便利・快適かつバリアフリーな移動環境の実現
- 阪堺線とSMI都心ラインとの乗継利便性の向上
- 次世代モビリティの活用により、バリアフリーに回遊できる環境の整備

拠点間ネットワークの構築

- 堺都心部と美原などの地域拠点をつなぐ公共交通ネットワークの構築

公共交通の利用促進と脱炭素化

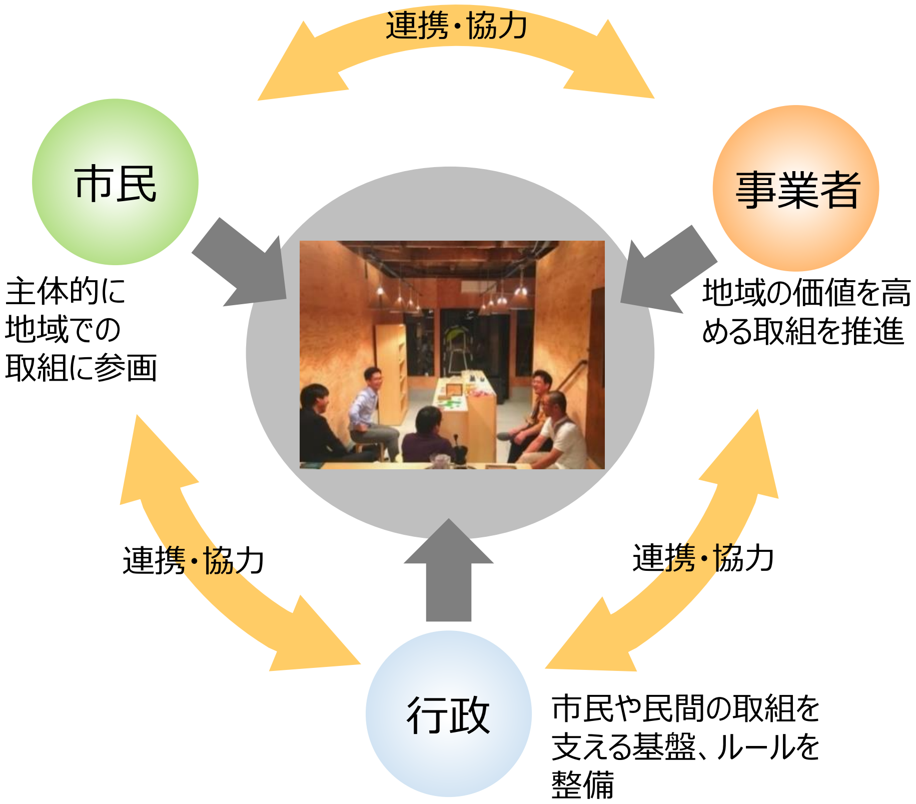
- 公共交通の利用促進、自家用車からの利用転換
- 車両の電動化

生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携

- 「City as a Service」の導入による交通や健康、子育て、安全・安心、買い物、観光など包括的な情報サービスの提供

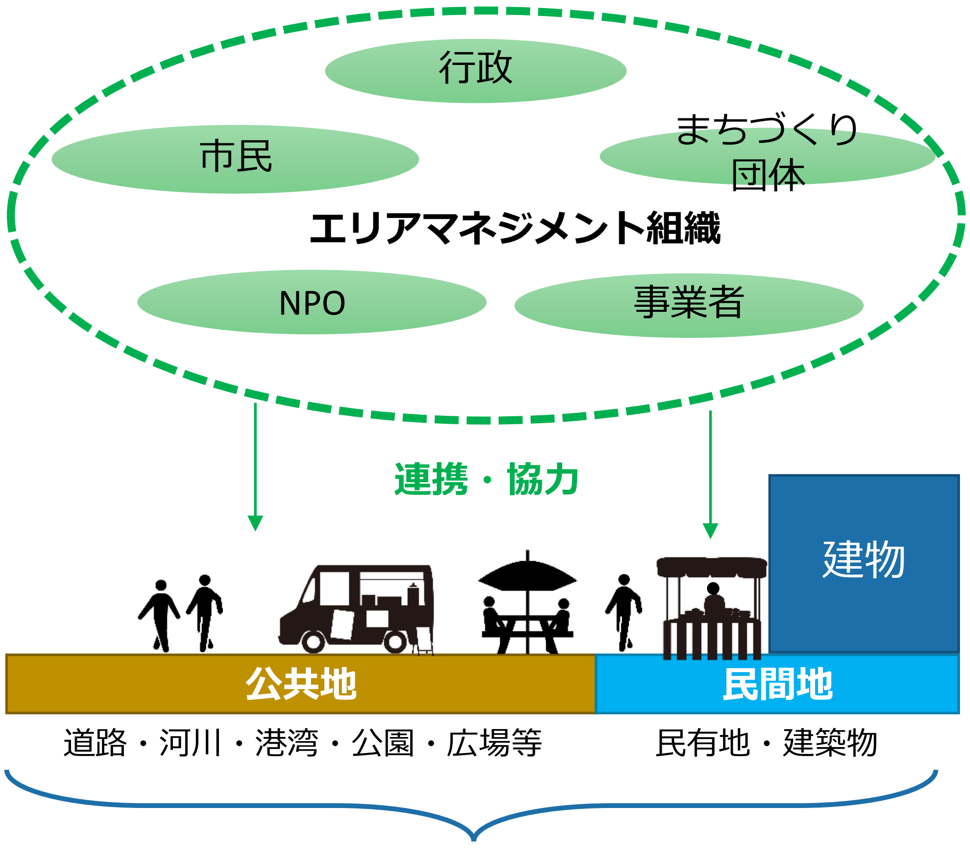
取組方針　魅力を育てる
～公民連携によるエリア価値の向上～

ビジョンの実現に向けて、市民・事業者・行政が相互に連携・協力し、それぞれの役割を担い主体的に取組を進め、魅力を育てます。



市民・事業者・行政が連携・協力し、
エリアの価値を向上させ、持続的に発展

＜公民のパブリック空間を活用した公民連携のイメージ＞



エリア価値の向上のため、公民のパブリック空間を
賑わい・交流の場として一体的に活用

堺都心部の未来に向けた挑戦

堺市
SAKAI CITY

近年、様々な分野で進む技術革新を背景に、生活スタイルや経済システムが急激に変化しており、数年先の世の中を誰も見通せない状況です。
これまでは、長期的な計画を固めた上で様々な取組を行ってきましたが、急速に時代が変化する今日、長期計画ではなく「ビジョンと目標」を公民で共有し、できることから素早く手掛け、その効果を検証しつつ、また環境の変化に対応しながら段階的に取組を積み重ねていくアプローチでプロジェクトを推進します。
まず、その第一歩として公共空間を中心とした人々の活動、交流、滞在を促す空間形成を進めます。

道路空間の活用

大小路筋・大道筋

歩道等の空間を活用した滞在空間の創出

歩道空間の活用

丸の内仲通りアーバンテラス（千代田区）
出典：国土交通省

水辺空間の活用

環濠（内川・土居川）

水辺を活用したイベントやアクティビティの導入

環濠の水辺空間の活用

水辺のオープンカフェ（広島市）
出典：国土交通省

海辺空間の活用

堺旧港

海辺の魅力を活かした交流空間の形成

護岸後背地への商業機能導入

中之島（大阪市）
出典：国土交通省

SMIプロジェクト

大小路筋・大道筋など

回遊性の向上と拠点間ネットワーク構築

SMI都心ライン

阪堺線の利便性向上

SMI美原ライン

出典：国土交通省
次世代モビリティ

シェアサイクル

堺東エリアの特性と取組の方向性

＜エリアの特性＞

多様な都市機能が集積

・商店街やオフェスが立地する「商業・業務」
・市役所などが立地する「行政」
・フェニーチェ堺などが立地する「文化・居住・商業」
・商業、マンションなどが立地する「商業・居住」

周辺エリアと交流を生む拠点性

・周辺に、堺べイエリア、環濠エリアや百舌鳥古墳群などが存在
・堺東駅は、市内多くの拠点を結ぶバスの発着地

界隈性（親しみ、新たな刺激）

・ふらっとでかける日常性、親しみやすい魅力がある
・周辺には個性的な店の出店が見られる

＜取組の方向性＞

クロス　プレイス　堺東
訪れる・働く・住む人など多様な目的の人が集い・交流するエリアへ

※クロスプレイス：多様な人がクロス（集い、交流）し、楽しむ・憩うといった様々な人の活動が見られるプレイス（場）

観光・ビジネス・居住者など、多様な目的の人々が集う魅力的な都市空間の形成

広場・道路等の公共空間を活用し、交流・滞在を促す居心地の良い人中心の空間の形成

大小路筋

Minaさかい

ジョルノ前公共空間

フェニーチェ堺

堺東エリアの特性と取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

駅前ゾーン

- 堺の顔として、シンボル的かつ魅力的な駅街区が広がっている
- 本市を代表する拠点駅として、旅行者や買い物客など市内外から様々な人が集っている

商店街周辺ゾーン

- 特色ある店舗の集積を活かした界隈性のある空間が広がる
- 新しいビジネスが進出
- 旅行者や居住者などが魅力的な店舗が並ぶ通りを歩いて楽しんでいる

コアウォーカブルゾーン

- 都市の貴重な大規模オープンスペースが持つ解放感を感じながら、家族や仲間でくつろいでいる
- 広場などはワクワクするイベント等が開催されている

フェニーチェ堺周辺ゾーン

- フェニーチェ堺に対する期待感を持ち、居心地の良い時間を過ごしている
- フェニーチェ堺で上質な文化に触れた余韻を周辺エリアで仲間とともに楽しんでいる

堺東エリアの取組

堺市 SAKAI CITY

魅力を磨く

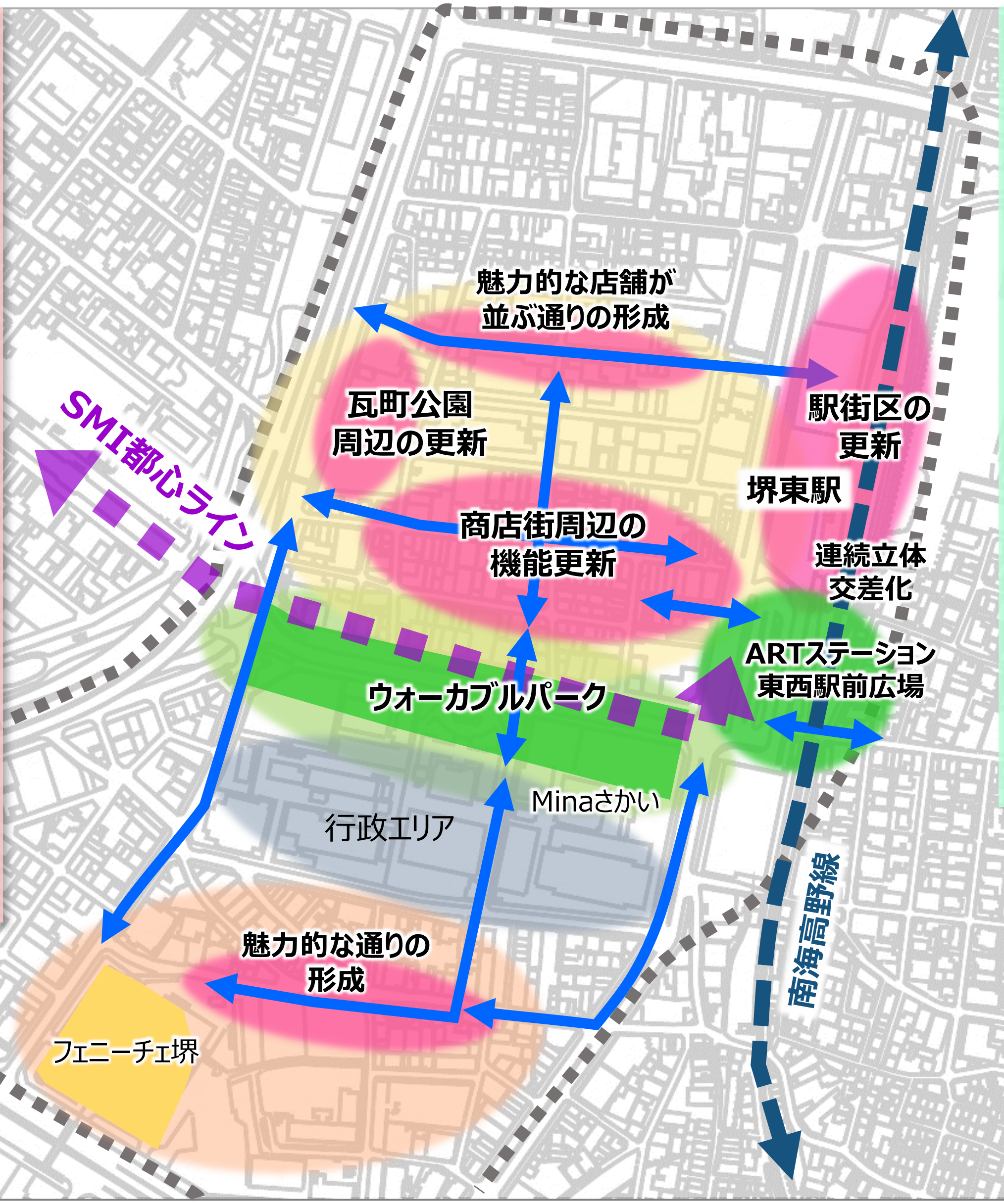
駅街区の更新
・堺の顔となる商業、業務、宿泊等の充実による多様な目的の人が集う拠点の形成

瓦町公園周辺の更新
・商業・業務機能等の導入（再開発事業等）

魅力的な店舗が並ぶ通りの形成
・低未利用地等を活用し、商業機能を充実

商店街周辺の機能更新
・商業・業務機能等の更新（リノベーション、規制緩和等による共同建替等）

魅力的な通りの形成
・低未利用地等を活用し、歩きやすく魅力的な通りの形成



堺区

人の流れを誘導

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

シンボリックなウォーカブルパーク
・自動運転技術と車道・歩道・Minaさかいで憩い・交流する空間を形成
・Minaさかいの民間による運営（指定管理者制度等）

駅街区の更新（駅前広場等）
・鉄道の連続立体交差化
・ARTステーション
・東西の駅前広場一体利用
・駅前に憩いの空間形成
・デッキによる安全な移動空間

堺東エリアの将来像

【堺東駅前周辺】

堺の顔として一新された駅街区では、旅行者や買い物客など多様な人が交流・滞在している

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺東エリアの将来像

【瓦町公園周辺】

大規模にリニューアルされた瓦町公園周辺では、人々が集い、憩う緑の空間とあわせて、商業施設での購買など、多くの人が楽しんでいる

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺東エリアの将来像

【大小路筋（市役所北側）】

次世代交通ARTが走行する車道・広い歩道・Minaさかい等が一体の空間となったウォーカブルなシンボル的空間で人々が憩い・交流している

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺東エリアの将来像

【商店街北側周辺】

商店街北側周辺では、飲食・物販など、歩いて楽しい通りが広がっている

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺駅・堺旧港エリアの特性と取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

＜エリアの特性＞

優れた広域アクセス

・大阪都心部と関空を結ぶ交通軸に位置
・なにわ筋線開業により、堺駅は関空と国土軸を結ぶ結節点に

都心の貴重な水辺

・市街地（駅）に近接する海辺空間
・親水護岸が整備された美しい港
・環濠につながる水辺

豊かな歴史・文化

・堺は海から発展、堺の原点
・江戸時代の堺旧港・環濠が現在の堺の骨格に
・堺旧港、大浜公園、旧堺燈台等の歴史文化資源

＜取組の方向性＞

水辺　リ　デザイン

“Mizube” Re-Design

堺の歴史を紡いできた水辺から新たな魅力が生まれ、国内外から人々が集うエリアへ

関空・国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心、堺の玄関口として多様な交流を創出

堺旧港の海辺や環濠につながる水辺、豊かな歴史・文化等を活かした居心地の良い交流空間を形成

堺駅周辺と堺旧港

堺旧港親水性護岸

旧堺燈台・工場壁画

大浜公園
出典：堺大魚夜市HP

堺駅・堺旧港エリアの特性と取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

ゲートゾーン

●国内外のゲートウェイとして、多様な交流が生まれ、活気づいている
●水面・水辺や緑の空間で多くの市民、来街者が憩い、くつろいでいる
●多様なモビリティで便利につながっている（移動が刷新される）

ノルウェー・オスロ

海辺の賑わい・交流ゾーン

●宿泊・賑わい施設では、市民、来訪者が海を感じ、交流している
●護岸後背地に商業機能等が立地し、護岸と一体的に魅力ある交流空間が形成され、賑わっている

中之島（大阪市）　出典：国土交通省

海辺空間活用ゾーン

●飲食等の水上施設やアクティビティなど新たな水面利用が行われている
●海上交通により、大阪ベイエリアと結ばれている

水上ラウンジWATERLINE
出典：国土交通省

関西国際空港と神戸港を結ぶベイシャトル
出典：Bay Shuttle HP

堺駅・堺旧港エリアの取組

堺市 SAKAI CITY

魅力を磨く

堺の玄関口に相応しい拠点性強化

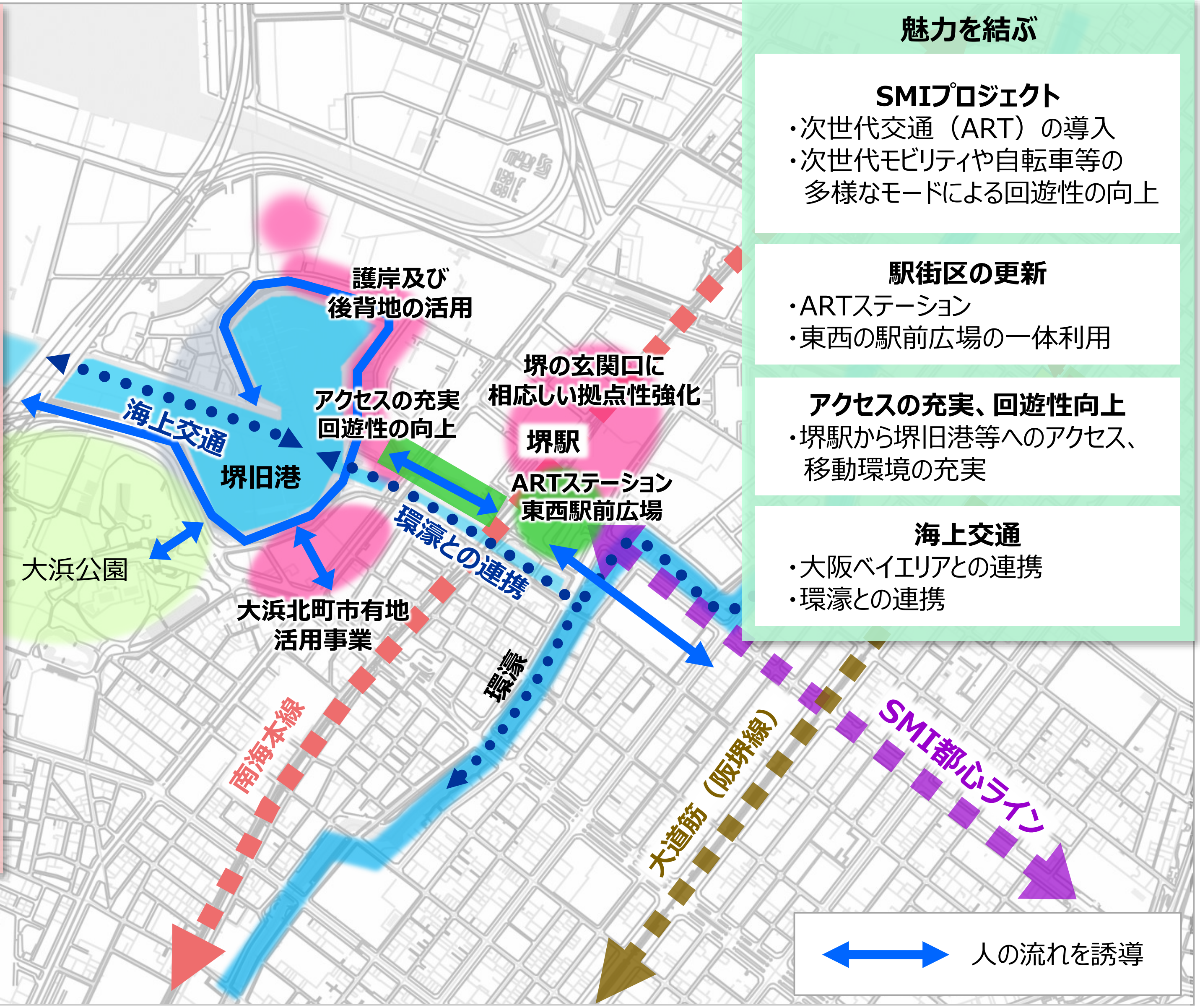
・周辺の低未利用地も活用した商業・業務・宿泊機能等の集積、駅前空間の更新、ターミナル機能等の強化
・国内外からのゲートウェイとして多様な交流を生む拠点の形成
・豊かな都市生活を育む拠点の形成
・水と緑の憩いの空間形成

堺旧港の賑わい創出

・大浜北町市有地活用事業（宿泊・賑わい・交流機能、回遊性に配慮したデッキ等）
・護岸及び護岸後背地の活用（商業機能等導入）
・ポンプ場用地の活用

海辺空間活用による新たな魅力の創出

・水上施設など新たな水面利用
・水上アクティビティ



魅力を結ぶ

SMIプロジェクト

・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

駅街区の更新

・ARTステーション
・東西の駅前広場の一体利用

アクセスの充実、回遊性向上

・堺駅から堺旧港等へのアクセス、移動環境の充実

海上交通

・大阪ベイエリアとの連携
・環濠との連携

堺駅・堺旧港エリアの将来像

【堺駅前周辺】

関西国際空港・国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心、堺の玄関口として、国内外から多様な交流が創出されている

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺駅・堺旧港エリアの将来像

【堺旧港】

海の見える階段式の護岸や隣接する宿泊・賑わい施設で人々が海を感じながら、憩い・交流している

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

環濠エリアの特性と取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

＜エリアの特性＞

豊かな歴史文化資源
- 刃物や線香などの伝統産業、茶の湯、和菓子
- 町家や寺院などの歴史的建造物
- さかい利晶の杜や堺伝匠館などの観光・文化施設
- 100年以上の歴史を有する大阪で唯一の路面電車・阪堺線

豊かな人材･組織
- NPOなどの民間公益団体が数多く存在
- 民間主体によるイベントや取組

豊かな公共空間
- 内川・土居川（環濠）の水辺空間
- 大道筋・大小路筋が持つ広幅員の歩道空間
- 地域に親しまれる公園

＜取組の方向性＞

カンゴー　ビヨンド

環濠（CAN　GO）BEYOND

歴史を紡いだ環濠エリアの新たな価値創造により人々が集うエリアへ

豊かな歴史文化資源や公共空間を活かし、環濠エリアならではの特別感のある空間形成

伝統産業や歴史文化を活かした来訪魅力の創出

居心地が良く歩きたくなるエリアに向けた空間形成と移動手段の多様化

歴史的建造物

茶の湯の文化

伝統産業

環濠の水辺空間

環濠エリアの特性と取組の方向性

堺市 SAKAI CITY

環濠北部ゾーン

- 伝統産業・歴史文化を知って体験している
- 風情ある空間をスマートウォーカブルで散策、散走している（歩行環境の改善、ICTの活用）

愛媛県・内子町
出典：国土交通省

水辺ゾーン

- 身近でオープンな水辺空間で遊び、楽しんでいる
- エリアに根差す歴史や文化を環濠から感じる
- 都市のなかの癒しの空間でくつろいでいる

デンマーク・オーフス
出典：国土交通省

大小路筋

- SMI都心ラインが都心間をつなぐ未来軸（大小路筋）となる
- 大小路筋と沿道が一体となり、居心地が良く歩きたくなる
- 多くの出会いからイノベーションが生まれる

アメリカ・ポートランド
出典：国土交通省

大道筋

- 大道筋と沿道が一体となり、居心地が良く歩きたくなる
- 広幅員を活かしたセントラルパークなどシンボリックな空間で新しい交流が生まれる
- 阪堺線を活用してエリアを周遊する

愛媛県・花園町通り
出典：国土交通省

寺町・緑ゾーン

- 国内有数の寺院が集積している
- 寺社仏閣を活用した観光周遊を楽しんでいる
- かつての環濠の風情を再生し、歴史を回顧または新たに知ることができるゾーンにアップデート

センターゾーン

- 堺都心部のクロスポイントで歴史と未来が融合する
- 多様なアクティビティや使い方ができる場所と仕組み
- 歴史を感じながら、新しい交流が生まれ、情報があふれている

千代田区・丸の内仲通りアーバンテラス
出典：国土交通省

環濠エリアの取組

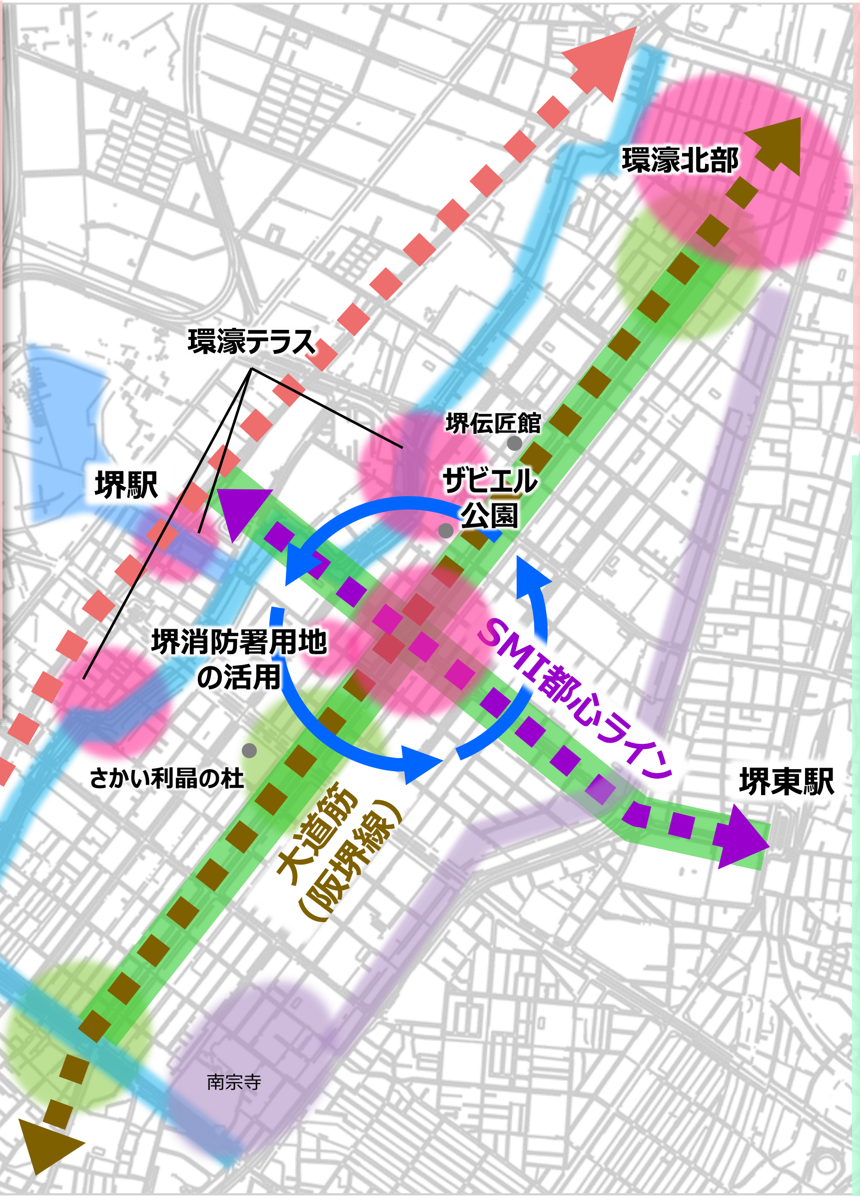
魅力を磨く

環濠の水辺を活かした空間（環濠テラスの形成）

・水辺の日常利用、イベント活用の促進
・水辺アクティビティ（小型船、水上自転車等）の導入
・水辺に面した店舗等の立地を促進するインセンティブの導入
・水辺と周辺公共空間の一体的な活用
・水辺における情報発信・賑わい拠点の設置

堺消防署用地の活用

・環濠エリアを代表する顔
・賑わいが創出される場所



魅力を磨く

環濠北部の歴史的建造物の保全・活用

・指定文化財等を核とし、歴史風致維持向上のため、道路の美装化、無電柱化、建築物の修景などによりまちなみを形成
・回遊性を高める基盤整備等受け入れ環境の整備

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト

・多様な移動手段で楽しみながら快適に移動
・次世代交通（ART）の導入
・阪堺線の利便性向上

豊かな歩行空間の形成（大道筋・大小路筋）

・イート＆レストなど賑わい空間充実に向けた道路空間の活用
・公園、民間空地等を活用した憩い滞在空間の形成
・沿道店舗等の誘致を促進するインセンティブ導入
・沿道建物の1階を都市と人に開いた空間として形成
・大道筋のシンボリックな空間の再構築

環濠エリアの将来像

【大小路筋・大道筋】

歴史を感じながら、新しい交流が生まれ、情報があふれる

パターン1（上）：大道筋の中央に歩行者空間を整備したイメージ
パターン2（右）：大道筋の歩道を拡幅したイメージ

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

環濠エリアの将来像

【環濠水辺】

都市の中の水辺を身近に感じる空間で、人々がそれぞれの時間を楽しみ、くつろぎ、すごしている

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

ターゲットとロードマップ

		短期～中期（～2030年） **2025年**		長期 （～2040年）
ターゲット	市民等	公民パブリック空間等での 活動や交流の促進	多様な活動や交流による 新たな価値の創出	
	来訪者	市内外からの来街を促進	周辺地域からの来訪地、 観光客の立ち寄り地として定着	
取組方針１ **魅力を磨く** **～地域資源を活かして魅力を高める～**		魅力あるエリア形成に 向けた交流空間創出	多様な都市機能の導入・強化 市街地の更新、都市空間の再編	
		歴史ある堺の伝統・文化を活用した取組の推進		
取組方針2 **魅力を結ぶ** **～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～** **＜SMIプロジェクト＞**		道路等の 公共空間の活用	道路や民地を含めた沿道空間を活用した 滞在空間・交流空間の形成	
		公共交通の利便性向上やバリアフリー化、次世代モビリティなどの活用 CaaSの導入		技術の進展等に 応じた進化・更新
取組方針3 **魅力を育てる** **～公民連携によりエリア価値を向上させる～**		公民連携による段階的取組・機運醸成	組織による運営開始	組織による 自立的なエリア 運営
		制度検討、導入		